

第1章 超高齢社会の現状について

【1 愛知県における高齢化の状況】

(1) 本県全体の状況
平成24年に超高齢社会へ(高齢化率21.3%)
推計では、
平成37年に26.4%、
平成47年には29.5%

超高齢社会: 21%～
高齢社会 : 14%～
高齢化社会: 7%～

(2) 地域別の高齢化の状況

- ・最も高い東三河地域の25.0%に対して、最も低い西三河地域は20.2%
- ・最も高い東栄町の49.8%に対して、最も低い長久手市は14.6%
- ・高齢化率の高い市町村は同時に過疎地域

・地域によって高齢化の状況は大きく異なる。
・施策の実施に当たっては、地域が置かれている状況や地域間の格差などを考慮することが必要

【2 愛知県における地域活動の状況】

(1) 年代別の参加経験

年齢とともに増加するが、50～59歳でいったん減少し、(63.2%)、60～64歳で最も高くなっている(72.5%)。

(2) 参加した地域活動(参加ギャップ=参加意向-参加経験)

- ・地域における公共的・義務的な活動 ⇒ マイナスのギャップ
- ・地域的・現代的な課題に対する活動 ⇒ プラスのギャップ

・定年を控えた世代に対する働きかけ
・地域の一員としての立場に気づくような働きかけ
・防火や防災訓練活動などに一歩を踏み出すための工夫

【3 高齢者の社会との関わり】

- (1) 就労に関する意識
「働けるうちはいつまでも」(25.1%)
- (2) 社会参加活動への意識
4人に3人が何らかの活動への参加意向
- (3) 自主的な活動と生きがい
自主的な活動の参加者は9割が生きがいを実感

元気な高齢者は社会に対しても前向きであり、高齢者を上手に取り込んでいけるような社会の仕組みづくりが必要

第2章 超高齢社会における生涯学習の意義

【1 生涯学習の理念】 生涯学習とは、学校のみならず、家庭、社会などの様々な場や、文化・スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動など様々な機会において行われる学習

【2 高齢者の特長】 (長い人生経験による「豊かな経験と知恵」) (定年等に伴う離職等の「喪失の経験」) (自身の存在を確認するための「他者との関わり」)

【3 超高齢社会における生涯学習の意義と期待される役割】

- 新たな生きがい、やりがいを得て、生き生きと人生の次のステージを過ごすこと(充実感の創出)
- 様々な活動により、健康が維持され介護予防にもつながること(健康の維持)
- 世代間の相互理解のため、異なる世代間の交流を促すこと(世代間交流の促進)
- 地域の課題解決に参加することにより、地域の活性化につながること(地域への貢献)

第3章 超高齢社会に対応した本県における取組

【1 充実感の創出や健康の維持に向けた取組】

- ・「学びネットあいち」の運営
- ・「あいちシルバーカレッジ」の開催
- ・「生き生き長寿フェア」の開催
- ・「愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル」の開催
- ・全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手派遣
- ・健康長寿あいちづくりの推進 など

【2 世代間交流の促進や地域への貢献に向けた取組】

- ・シニア地域デビュー支援事業の実施
- ・生涯学習ボランティアの登録等
- ・「まちの達人」に対する支援 など

生涯学習の意義と期待される役割に係る取組

第5章 超高齢社会に対応した生涯学習の在り方

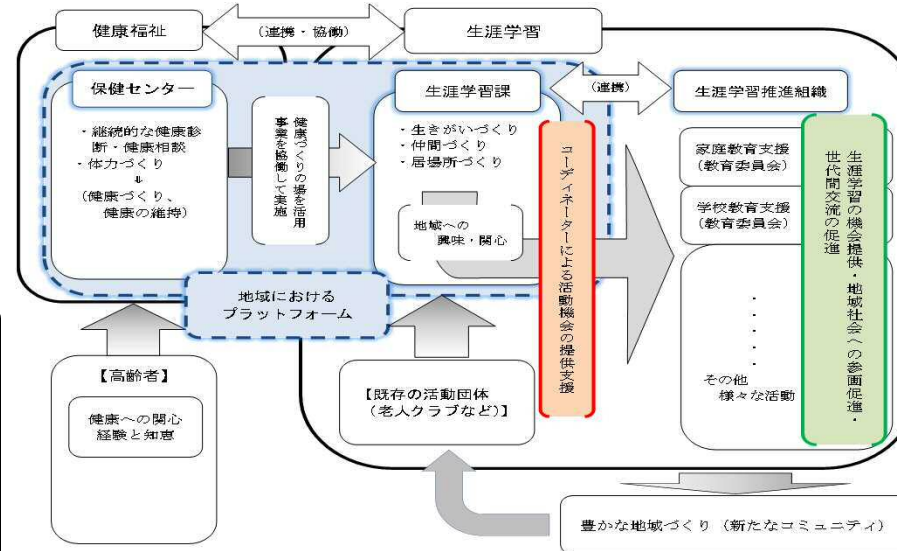
【提言1】

定年を迎える前から、高齢者自身が自らを地域社会が必要としていることに気付くための学習を推進すること

【提言2】

地域社会に新たな一歩を踏み出すための仕掛けをつくり、高齢者と団体やグループ等を橋渡しできる人材の養成を推進すること

【学びと健康づくりのプラットフォーム(例示)】



愛知モデル(イメージ)

【提言3】

超高齢社会のさらなる進行を見据えて、すべての世代が超高齢社会を正しく理解するための学習を推進すること

【提言4】

世代を超えて、多様な価値観や考え方に共感できるよう世代間の交流を推進すること

【提言5】

生涯学習のプラットフォームを構築し、世代間交流や地域社会への参画が促進される循環を創り出すこと

第4章 県内の市町村等における先進的な取組

【1 世代間交流の促進に向けた取組】

- ・いきいきシルバースクールの開催(日進市)
小学校の空き教室等を活用して、高齢者と児童との世代間交流を促進
- ・全市的な認知症サポーター養成講座(みよし市)
超高齢社会の進行を見据えて、小中学校の世代から認知症を理解する講座の実施
- ・少年少女発明クラブの活動(企業)
定年退職した人などがボランティアで小中学生を対象にモノづくりの楽しさを伝授

【2 地域への貢献に向けた取組】

- ・高齢者の生きがいづくり・生活支援活動人材育成事業の実施(山形県)
55歳以上の中高年者を対象に、生きがいづくり・生活支援活動に関する講座を実施
- ・思い出ふれあい事業の実施(北名古屋市)
回想法スクール修了者を「いきいき隊」に任命し、地域と関わっていくための仕掛けづくり

今後の生涯学習に活かすべき視点

世代間交流や地域への貢献に係る特色ある事業展開